

建物の火災保険をご検討の方へ…家財の火災保険もお忘れなく

理由
その1

家具や家電製品、衣類等の財産を補償するのは**家財の火災保険**です。



建物の火災保険に加入していれば、
建物に収容される家財も、補償されると思っていたのに。



建物と家財の両方を保険の対象とした場合



建物



家財

建物のみを保険の対象とした場合



建物



家財

理由
その2

万が一の際に家財を一度に買いそろえると
思った以上に高額になります。



私と夫、小学3年生と1年生の子供の4人家族です。
そんなに家財は持っていないと思うのですが。



家財には、**家具類、衣類、寝具類、家電製品を**
はじめ、歯ブラシや茶わんに至るまで、
さまざまなものがあります。



たとえば、4人家族（ご世帯主の年齢40才）の場合、
標準的な家財の再調達価額は、

1,250万円にもなります。（平成27年11月現在）



家財の保険金額の設定方法については、7ページをご参照ください。

ぜひ、この機会にご加入を検討ください。